

技術検討会「AIシーズ&ニーズ共創」

世話役 富松 篤典(熊本県情報サービス産業協会 参与)

1 事業概要

目的	1. AI動向と事例を共有し、産業・教育・行政など地域の現在および近い将来の仕事のあり方を考えるための理解を深める。 2. 地域企業や行政の課題とAI技術シーズを結び付け、実務への適用可能性や対応の方向性を検討する。 3. 地域社会の将来像も視野に、AI導入・利用・開発の進め方やシナリオを整理する。 4. 産学官のネットワーク形成を図り、実証や共同検討につながる連携を促進する。
内容	生成AIやAIエージェントなどのAI技術動向や事例を共有するとともに、地域企業、教育機関、行政等の課題とAI技術シーズを結び付け、AIの進展を踏まえた近い将来の仕事や業務のあり方、人のあり方について議論する。 また、産学官の交流を通じて地域社会におけるAIへの向き合い方や取り組みの方向性を整理し、共同検討につながるテーマを探る。
計画	AI技術動向セミナー、シーズ&ニーズ検討会、意見交換等を不定期に開催する。 講師による話題提供や事例紹介をもとに、参加者によるディスカッションを行い、産業・教育・行政の各分野におけるAIとの関わり方や課題を整理する。
キーワード	AI、生成AI、AIエージェント、人とAIの関係、近い将来の仕事、AI時代の産業構造・地域産業・教育・行政・産学官連携、未来シナリオの創造
目標及びその進め方	AI技術の理解を深めるとともに、地域企業や行政等がAI時代にどのように向き合い、対応していくかの方向性を整理する。 講演や事例共有、ディスカッションを通じて産学官の知見を結び付け、共同検討や実証につながるテーマの創出を目指す。
対象者	地域企業、大学・研究機関、行政、教育機関など、AI技術やその活用に関心を持つ産学官の関係者
会員	RIST会員および関連分野の研究者、企業関係者、行政担当者、教育担当者(前年度からの継続参加者、及び組織的にAI活用に取り組む団体の関係者等)

2 支出計画

単位:千円

	RIST負担分					備考
	設備費	原材料費	消耗品費	その他	合計	
予算				200	200	

3 予算積算

(単位:千円)

	品名	単価	個数	価格	備考
設備費				0	
原材料費				0	
消耗品費				0	
その他	講師旅費・謝金、会場費など	200	1	200	
合計				200	